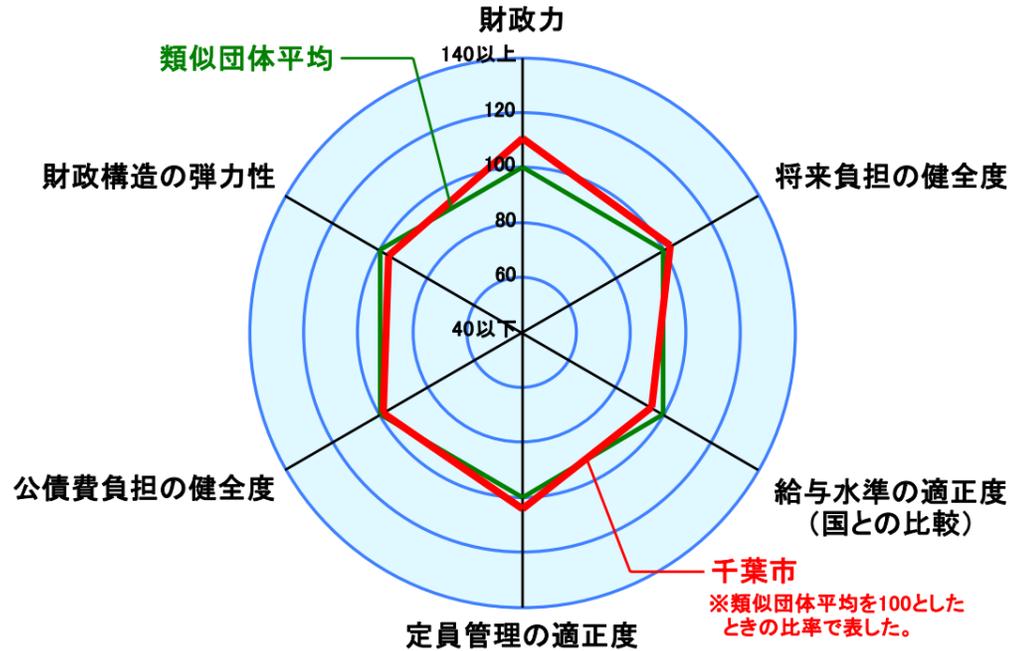
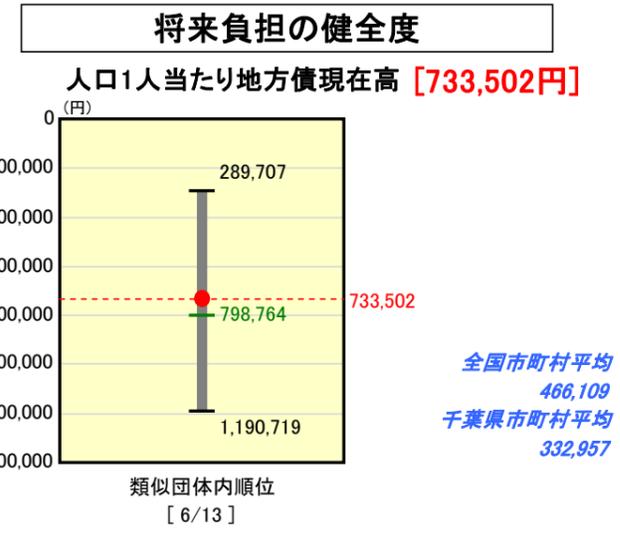
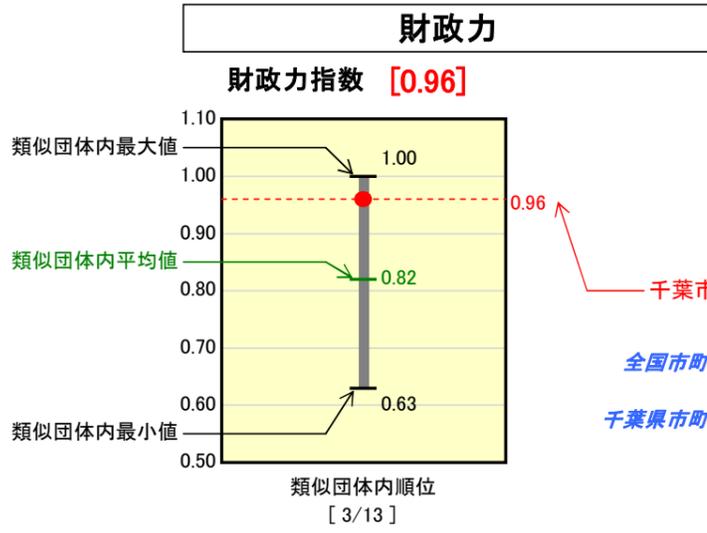


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 千葉県 千葉市

人口	899,438人(H17.3.31現在)
面積	272.08 km <sup>2</sup>
歳入総額	349,294,532千円
歳出総額	343,600,025千円
実質収支	131,094千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

本市では、平成18年2月に「千葉市新行政改革推進計画」を改定するとともに、「千葉市財政健全化プラン」「定員適正化計画」を策定し、下記指標も含めた各種数値目標を設定することにより、一層の財政の健全化に努めています。

#### 財政力(財政力指数)

市税収入の構成比率が高く、類似団体平均を大きく上回っています。

#### 財政構造の弾力性(経常収支比率)

市税収入の伸び悩みや義務的経費の増加等により、近年、増加傾向にあります。今後は、市税を中心とした財源の積極確保、事務事業の徹底した整理合理化により、平成21年度までに93%以下に抑制することを目標としています。

#### 公債費負担の健全度(起債制限比率)、将来負担の健全度(地方債現在高)

起債制限比率は近年、減少傾向にあるものの、地方債残高は増加傾向にあります。今後は、市債活用事業の厳選等を図り、臨時財政対策債等の特別な市債を除く市債依存度を平成21年度までに10%未満にするなど、数値目標を掲げて市債発行を抑制します。

#### 給与水準の適正度(ラスパイレス指数)

類似団体平均を上回っているものの、近年減少傾向にあります。さらに、平成18年度から実施する給与構造の改革により、年功的な体系から職務・職責に応じた体系へと転換することで、より一層の給与水準の適正化を図ります。

#### 定員管理の適正度(職員数)

従来から、委託化の推進など効率的な行政運営に努めてきたことにより、類似団体平均を下回っています。今後とも、より一層、行政運営の効率化に努め、平成22年4月1日までに職員数を360人(4.6%)削減することを目標としています。

